

募 集

 平成24年度 親子の
よい歯のコンクール

▼対象 「満3歳～6歳(平成18年4月2日～平成21年4月1日生まれ)の幼児」とその母親または父親※過去の受賞者は対象外▼**応募方法** 「親子の氏名(ふりがな)、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、かかりつけ(または最寄りの)「歯科医院」をはがきに記入し郵送で、または任意の用紙に記入しFAXで応募する

▼**応募期限** 6月22日(金)必着▼**口腔診査** 応募者に送付される口腔診査票等を持参し、歯科医師会会員の歯科医院で6月29日(金)までに口腔診査を受ける▼**入賞** 最優秀者1組、優秀者4組

▼**表彰** 第21回茨城県民歯科保健大会(11月11日(日)県歯科医師会館)で表彰予定

▼**応募・問合せ** 茨城県歯科医師会 8020事業係 〒310・0911 水戸市見和2・292 ☎029・252・2561

 文化会館講座
ガラスアート体験教室

生活に彩りを添えるものづくりをしてみませんか。

▼**日時** 7月～11月の原則第1・3火曜日(全8回)午前9時30分～正午※開講式は7月3日(火)▼**対象** 市内在住・在勤の方▼**定員** 10人※超過の場合抽選▼**内容** ガラス板、アクリル板、鏡などに、カラーフィルム・リード線(鉛)を貼って作品をつくり、手軽にステンドグラスの雰囲気を楽しむ(フोटオスタンド、クリスマスオーナメント、花瓶など)▼**講師** 吉田恵氏(よしだめぐみ氏)

▼**参加費** 無料※材料代、道具代は自己負担(1回1500円程度)▼**申込方法** 往復はがきに講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し郵送、または窓口へ返信用はがきを持参し申し込む▼**申込締切** 6月18日(月)必着

▼**申込・問合せ** 文化会館 〒302・0104 守谷市久保ヶ丘1・19・2 ☎48・7911



取手市医師会健康教室

子宮頸がんワクチン

最近の婦人科のトピックスに子宮頸がんワクチンの話題があります。当初、高額のたためそれほど普及しないうちにはないかといわれていました。しかし、国内で接種が開始された2010年以來、予想外に普及し、公費負担も行き渡り、中学生の接種も増え、全国的にワクチンが不足するというような事態が起きたほどです。子宮頸がんがヒトパピローマウイルス(HPV)に感染することによって引き起こされるといふことからこのHPVの16型、18型に対する抗体を作ることにより、感染を防ぎ、子宮頸がんの予防に役立てようという画期的な予防方法ですが、接種する上でのいくつかの注意点ががあります。

宮頸がんの予防ができるのは60～70%に過ぎません。ワクチンを打った後も定期的ながん検診が必要です。また、このワクチンで6年程度は抗体価が持続するといわれていますが、その後の効果は未確定です。さらに、既にHPVに感染している場合やHPVが原因で前癌病変になっている場合にこれらを治癒させる効力はありません。ワクチンを打てば子宮頸がんを完璧に防げるというものではないということへの理解が必要

最初の接種から1か月後、6か月後の3回です。一般のワクチンと同様、過去に同じ注射で重篤な副作用があった方は打てません。注射当日、発熱があるなど体調が悪い方も控えたほうがいいでしょう。ワクチンはウイルスのたんぱく質を基に作られ、感染性DNAを含んでいないので感染力はありませんが、妊娠中は免疫力が低下しますので、接種を控えるほうが望ましいといわれています。注射部位の発赤、発熱、疲労、筋肉痛、頭痛等が主な副作用ですが、他のワクチンと異なり、多くの方が注射部位の痛みを強く感じるようです。注射後にこれが原因と考えられる失神を起す事例が報告されているので、注射後は30分ほど横になっておくことが望ましいでしょう。

まず、ワクチンは頸がんの原因全てをカバーしているわけではないため、ワクチンを接種することで、子宮頸がんの予防に役立てようという画期的な予防方法ですが、接種する上でのいくつかの注意点ががあります。

次にワクチンを打つ年齢ですが、最も望ましいのが11～14歳で、初回性交前に行うのが理想的です。公費助成がこの年代に主に行われているのも、限られた財源を最も有効に使いたためです。これ以降に打つのが無意味なわけではなく、15～45歳の女性に対しても接種が推奨されています。既に性交渉があってもHPVに未感染であれば、接種する意味はあるのです。ワクチン接種回数は、初回、

●守谷市では、子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成をしています。詳細は、市保健センター(☎48・6000)までお問い合わせください。